



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月7日

上場会社名 株式会社アークス 上場取引所 東・札  
 コード番号 9948 URL <http://www.arcs-g.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 清  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 古川 公一 TEL 011-530-1000  
 管理部門・コーポレート部門管掌  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	344,611	2.4	8,840	0.1	9,980	2.4	8,338	90.2
26年2月期第3四半期	336,654	6.0	8,831	△6.2	9,747	△4.4	4,384	△30.1

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 8,512百万円 (87.7%) 26年2月期第3四半期 4,535百万円 (△28.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	150.68	—
26年2月期第3四半期	79.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	199,055	118,722	59.1
26年2月期	177,564	110,019	62.0

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 117,638百万円 26年2月期 110,019百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年2月期	—	20.00	—		
27年2月期（予想）				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	480,000	5.6	13,900	3.5	15,500	5.5	10,000	56.9	179.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	56,650,468株	26年2月期	55,591,438株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	1,069,695株	26年2月期	566,949株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	55,342,432株	26年2月期3Q	55,025,590株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年11月30日)におけるわが国経済は、昨年来から続く円安・株高を背景に、一部で企業収益や雇用情勢が改善傾向にあるものの、消費増税や物価の上昇等により、個人消費の減退が鮮明となり、景気回復に影響するなど、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である食品小売業界におきましても、夏場の天候不順、消費増税や電気料金の値上げ等に伴う消費者の節約志向に加え、競合各社との価格競争、異業種との競争激化により、経営環境は引き続き厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のなか、当社グループは、「渾ての力を結集し顧客第一主義を貫き 総攻撃で増税・脱デフレの難関を突破する」を年頭方針として掲げ、敢えて積極的な取り組みを行うことで、地域シェアの拡大と企業価値の向上を図ってまいりました。

平成26年9月1日には、当社グループの東北エリアにおける一層の競争力強化を図ることを目的に、岩手県及び宮城県において、ディスカウンティング業態の「ビッグハウス」を中心に25店舗を展開している㈱ベルプラス(本社:岩手県盛岡市)と経営統合を行いました。また、当社の連結子会社である㈱ユニバースが、平成26年3月31日付で㈱リッツコーポレーション(本社:福島県会津若松市)の全株式を取得して子会社化し、平成26年9月1日に吸収合併いたしました。

組織体制面におきましては、平成26年9月1日より、これまで㈱イワイが担当していた㈱ラルズの酒販部門を移管し、㈱ラルズの直営とすることで、食品売り場と一体化した販売促進による一層の販売力強化を図りました。

また、当社グループの共通課題への取り組みやグループシナジーの更なる追求を目的として前年度に大きく見直しを行った委員会及びプロジェクトの活動を通じ、当社グループのスケールメリットを生かした商品・資材調達への取り組みや新たな販売チャネル開発を始めとする新規事業の研究を継続してまいりました。更に、当社と当社子会社の機能及び役割の明確化によるグループ・ガバナンスの強化並びに公正な取引を推進するための業務改革を、グループ共通の取り組みとして継続してまいりました。

営業面におきましては、平成26年7月に食品フロアを先行オープンした「スーパーアークス室蘭中央店」(運営会社㈱ラルズ)に、同年10月及び12月にお客様のご要望にお応えしたテナントを導入し、地域に根ざした商業施設としての充実を図りました。

また、品揃えの拡充などによりお客様の利便性の向上を図るため、㈱ユニバースが3店舗の移転・新築と1店舗の改装を実施した他、㈱福原1店舗、㈱道北アークス2店舗、㈱東光ストア1店舗、㈱道南ラルズ1店舗、㈱ジョイス6店舗、㈱ベルプラス1店舗の改装(業態変更を含む)をそれぞれ実施いたしました。

一方、店舗政策の効率化のため、平成26年6月に「ラルズプラザ札幌店」及び「ラルズマート札幌店」(いずれも運営会社㈱ラルズ)を閉店した他、「フクハラるる店」(運営会社㈱福原)の大幅な改装に伴い、同店と商圈を同じくする「フクハラ広尾店」(運営会社㈱福原)を平成26年10月に閉店いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の当社グループの総店舗数は316店舗となりました。

なお、㈱ユニバースが㈱リッツコーポレーションから譲り受けした4店舗については、上記に記載の当第3四半期連結会計期間中の移転・新築1店舗と改装1店舗に加え、同期間末時点で移転の為に閉店していた2店舗を12月にオープン致しました。また、新規出店として、平成26年12月に「スーパーアークス大縄店」(運営会社㈱道南ラルズ)をオープンしたことにより、当決算短信発表時点で当社グループの総店舗数は319店舗となっております。「スーパーアークス大縄店」については、地域特性を生かした生鮮品や少量パックの品揃えを充実した他、昼食、夕食のお弁当、おにぎり、ドリンク等を短時間でお買い物いただけるクイックコーナーを店舗出入口に近いインスタペカリーに併設し、大変ご好評をいただいております。

また、販売面におきましては、アークスグループ共同の販売促進を強化し、テレビCMの投入やお客様プレゼントキャンペーンなどを積極的に実施いたしました。その他、平成25年8月以降、東北地区へ順次展開してきたアークスRARAカードは、総会員数が平成26年12月末現在で255万人を超えました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、当第3四半期より連結子会社となりました㈱ベルプラスの業績貢献などにより売上高3,446億11百万円(対前年同期比2.4%増)、営業利益88億40百万円(対前年同期比0.1%増)、経常利益99億80百万円(対前年同期比2.4%増)となりました。四半期純利益につきましては㈱ベルプラスの子会社化に伴う負のれん発生益24億75百万円、段階取得に係る差益4億30百万円を計上したことなどにより83億38百万円(対前年同期比90.2%増)となり、増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末と比較して214億91百万円増加し、1,990億55百万円となりました。また、負債は127億88百万円増加し、803億33百万円となりました。

これらの主な要因は、㈱ベルプラスの連結子会社化などもあり、現金及び預金が86億46百万円、たな卸資産が11億93百万円、有形固定資産が98億32百万円それぞれ増加したこと、及び負債については、買掛金が62億97百万円、未払消費税等が15億69百万円、賞与引当金が12億40百万円増加したことなどによるものです。

なお、純資産は1,187億22百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末より2.9ポイント減少し59.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して92億18百万円増加し、325億7百万円(対前年同期末比では86億50百万円の増加)となりました。当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの各々の状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益127億2百万円、減価償却費40億9百万円、負ののれん発生益24億75百万円、仕入債務の増加額24億6百万円、及び法人税等の支払額54億30百万円などにより、163億36百万円の収入(対前年同期比では53億80百万円の収入増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入57億53百万円があったものの、新規出店や店舗改装に伴う有形固定資産の取得による支出47億8百万円、及び貸付けによる支出30億87百万円などにより、14億42百万円の支出(対前年同期比では15億34百万円の支出減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額4億70百万円、長期借入金の返済による支出14億29百万円、自己株式の取得による支出21億65百万円、及び配当金の支払額21億66百万円などにより、56億75百万円の支出(対前年同期比では25億64百万円の支出増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月25日及び平成26年10月14日に公表いたしました当社連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,823	33,469
受取手形及び売掛金	2,280	3,100
たな卸資産	13,045	14,239
未収入金	4,378	3,886
繰延税金資産	1,389	1,503
その他	1,560	1,959
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	47,468	58,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,697	42,083
土地	60,924	65,864
リース資産(純額)	2,427	3,208
その他(純額)	3,774	4,499
有形固定資産合計	105,824	115,656
無形固定資産		
のれん	356	604
ソフトウェア	812	798
その他	304	441
無形固定資産合計	1,473	1,844
投資その他の資産		
投資有価証券	3,062	3,737
敷金及び保証金	14,602	13,922
繰延税金資産	3,670	3,622
その他	1,829	2,140
貸倒引当金	△367	△17
投資その他の資産合計	22,797	23,405
固定資産合計	130,095	140,906
資産合計	177,564	199,055

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,336	30,633
短期借入金	5,145	5,508
リース債務	493	603
未払金	5,253	5,898
未払費用	2,346	3,475
未払法人税等	2,764	1,899
未払消費税等	610	2,179
賞与引当金	2,066	3,306
ポイント引当金	475	1,395
その他	1,667	2,477
流動負債合計	45,159	57,377
固定負債		
長期借入金	7,525	6,472
リース債務	2,110	2,696
退職給付引当金	3,252	3,526
長期預り保証金	5,944	5,968
資産除去債務	2,207	2,889
その他	1,345	1,401
固定負債合計	22,385	22,955
負債合計	67,544	80,333
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,683	23,603
利益剰余金	69,714	75,855
自己株式	△643	△2,253
株主資本合計	109,753	117,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265	433
その他の包括利益累計額合計	265	433
少数株主持分	—	1,083
純資産合計	110,019	118,722
負債純資産合計	177,564	199,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	336,654	344,611
売上原価	256,681	261,359
売上総利益	79,972	83,251
販売費及び一般管理費		
宣伝装飾費	4,186	4,007
店舗賃借料	5,225	5,178
ポイント引当金繰入額	2,688	3,846
給料及び手当	27,381	28,613
賞与引当金繰入額	3,412	3,637
退職給付費用	793	730
水道光熱費	5,590	6,156
租税公課	1,445	1,546
減価償却費	3,826	4,009
のれん償却額	414	449
その他	16,176	16,234
販売費及び一般管理費合計	71,141	74,410
営業利益	8,831	8,840
営業外収益		
受取利息	67	62
受取配当金	51	59
業務受託料	341	357
貸倒引当金戻入額	—	360
その他	647	798
営業外収益合計	1,108	1,638
営業外費用		
支払利息	150	136
ポイント引当金繰入額	—	300
その他	41	62
営業外費用合計	191	499
経常利益	9,747	9,980
特別利益		
負ののれん発生益	—	2,475
段階取得に係る差益	—	430
その他	3	16
特別利益合計	3	2,923
特別損失		
固定資産除売却損	115	138
店舗閉鎖損失	37	39
課徴金	1,287	—
その他	51	23
特別損失合計	1,492	201
税金等調整前四半期純利益	8,259	12,702
法人税等	3,874	4,358
少数株主損益調整前四半期純利益	4,384	8,344
少数株主利益	—	5
四半期純利益	4,384	8,338

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,384	8,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151	168
その他の包括利益合計	151	168
四半期包括利益	4,535	8,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,535	8,507
少数株主に係る四半期包括利益	—	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,259	12,702
減価償却費	3,826	4,009
負ののれん発生益	—	△2,475
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△430
のれん償却額	414	449
受取利息及び受取配当金	△119	△122
支払利息	150	136
課徴金	1,287	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,069	1,158
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△360
ポイント引当金の増減額(△は減少)	73	916
売上債権の増減額(△は増加)	△548	△629
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,269	△314
仕入債務の増減額(△は減少)	3,555	2,406
その他	2,152	4,347
小計	18,851	21,792
利息及び配当金の受取額	90	94
利息の支払額	△135	△120
課徴金の支払額	△1,287	—
法人税等の支払額	△6,563	△5,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,955	16,336
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,905	△4,708
無形固定資産の純増減額(△は増加)	△193	△255
貸付けによる支出	△1	△3,087
差入保証金の差入による支出	△238	△84
差入保証金の回収による収入	853	1,530
預り保証金の返還による支出	△699	△487
預り保証金の受入による収入	174	338
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△769
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	5,753
その他	33	326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,977	△1,442
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△640	470
長期借入れによる収入	5,000	100
長期借入金の返済による支出	△4,923	△1,429
自己株式の取得による支出	△2	△2,165
配当金の支払額	△2,218	△2,166
その他	△326	△484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,111	△5,675
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,867	9,218
現金及び現金同等物の期首残高	18,989	23,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,856	32,507

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 株式交換

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成26年9月1日を効力発生日として当社を株式交換完全親会社、㈱ベルプラスを株式交換完全子会社とする株式交換で新株発行1,059,030株、及び自己株式の交付650,000株を実施したことにより、資本剰余金が29億20百万円増加し、自己株式が8億80百万円減少しております。

(2) 自己株式の取得

当社は、平成26年10月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が21億61百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)	合計
	小売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	335,746	908	336,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	544	1,374	1,919
計	336,290	2,283	338,574
セグメント利益	10,206	196	10,402

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業、ビルメンテナンス事業及び保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,206
「その他」の区分の利益	196
のれん償却額	△414
全社費用等(注)	△240
四半期連結損益計算書の経常利益	9,747

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

当社グループは、小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで、当社グループの事業セグメントは「小売事業」と「その他」の事業に区分しておりましたが、「その他」の事業の売上高及び利益に重要性が乏しく、また、経営統合等による今後の事業展開を踏まえて事業別セグメントについて再検討した結果、「小売事業」を中心に事業拡大していくことが予想されることから、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントについては、「小売事業」の単一セグメントに変更することといたしました。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間

セグメントの名称		前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)		前年同期比 (%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
小売事業	食品	274,787	81.6	282,039	81.8	102.6
	衣料品	2,477	0.7	1,844	0.6	74.5
	住居関連	18,153	5.4	18,429	5.3	101.5
	テナント	10,721	3.2	10,354	3.0	96.6
	酒類等	25,008	7.4	25,957	7.5	103.8
	D P E	222	0.1	226	0.1	101.9
	医薬品	1,156	0.3	1,105	0.3	95.6
	不動産賃貸収入等	3,219	1.0	3,548	1.1	110.2
	計	335,746	99.7	343,506	99.7	102.3
その他	観光事業	280	0.1	291	0.1	103.7
	その他の事業	627	0.2	813	0.2	129.6
	計	908	0.3	1,104	0.3	121.5
合計		336,654	100.0	344,611	100.0	102.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。